

法人相談支援事業検討会議

11月に相談事業所「とびら」と「くれよん」で法人相談支援事業検討会議を行いました。内容は『移行期のチェックシート作成』です。移行期を<学齢期から成人期><障害福祉から介護保険>2つに分け、18歳時、65歳時それぞれの移行期に相談員がやるべきこと、ご家族にお伝えするべきことをグループワークで上げ、整理していきました。以下グループワークで出た内容の一部です。

①学齢～成人

- ・進路希望が就労移行支援、就労継続支援であれば就労アセスメントの申請が必要だね。
- ・小児慢性医療の延長をしないと。
- ・生活介護事業の申請の時期と計画案の作成時期を確認しておこう。
- ・19歳になったら障害年金申請の準備で、過去の記録、資料などを準備しておくよう家族に伝えたほうが良いね。



②障害福祉～介護保険

- ・65歳の誕生日3ヶ月前に地域包括に連絡が必要。顔合わせと情報共有はしておこう。
- ・引継ぎの資料を準備しておこう。
- ・区への判定申請はいつから可能？障害福祉サービスはいつまで利用できる？

相談員も受け持つケースによっては、移行期に関わる機会も少ない場合もあります。

それぞれが経験した対応、知識をそれぞれ出し合い、資料として整理することで、移行期に必要な動き、知識を深めることができました。

障がいをお持ちの18歳、65歳の方々、ご家族でご不明なことがあればお気軽にご相談ください。

相談支援事業くれよん山口

ドキュメンタリー映画「帆花」 2月4日からフォーラム仙台で上映！

重度の意識障害のある女の子の日常が映画になりました。

そこにある命はあたたかくてやさしい大事な命です。一緒にいることの大切さを感じて欲しい映画です。ぜひ映画館でご覧ください。

映画「帆花」公式サイト (honoka-film.com)



びぼっと 佐伯

やっさんの徒然なるままに・・・

年末になると落語の『芝浜』が聴きたくなりますよね。

噺の内容は各自ググっていただきたいと思いますが、私はこの噺を初めて新宿末廣亭で聴いたときにとても衝撃を受けた記憶があります。現実の話と夢の話が交互に出てくるので、夢？現実？と不思議な感覚になるのです。情景描写、登場人物の心模様を言葉と体の動きだけで表現する落語は何度聴いても圧倒されます（もちろん噺家によりますが）。

一度、電力ホールで立川談志の『芝浜』を生で観たことがあるのですが、鳥肌が立つというか経験したことのない感情を味わったことを憶えています。最近では生で落語を聴く機会がないのですが、また聴きに行きたいなと思っています。



グループホームサービス管理責任者 佐藤靖志